

続・SL-C760 で Java

Zaurus で動く Tgifっぽいソフトを作ろうとプログラムを書いているのですが
やはり四角とか丸とかのオブジェクトを6個くらい作ると落ちる。

eclipse の profiler でみると、

やはり、オブジェクトを保持しているコレクションクラス (Vector とか ArrayList) が
メモリをくっているよう。

とりあえず、コレクションクラスを使うのをやめて、

各オブジェクトに次のオブジェクトへのリンクをもたせるような実装に。

draw とかのメソッドを呼ぶと再帰的にリストをたどって描画する感じ。

とりあえず、ホスト開発環境である Mac での動作も心なしか速くなった感じ。

早速 ipk つくって (気分的につくりなおしてみた) Zaurus で実行。

...10個オブジェクトつくったら、やっぱりメモリが足りなくなった。

少しふえた~って違うか。

とりあえず、Java で Tgifっぽいソフトっていうのは Windows とかでも便利だから
Zaurus での動作は後回しにして、機能の実現からおわせようか、とも思うものの
やっぱり、Zaurus で動かないのは悔しい。

ベクトルデータで保存されているわけではないようだが、

FreeNoteQt のようなソフトは軽やかに動いているわけだし ...

というか、久しぶりにみてもたら (前みたのは購入直後の 1.1.1pre というやつだった)

ずいぶんバージョンがあがっていて

私の欲しい機能は Tgif の obj ファイルがはけないということを除いて

ほぼ実現されている。っていうか PDF はけるのか ...

これでいいじゃん ...